


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2017年 5月 23日

滋賀県知事 殿



提出者

住 所 兵庫県川西市東久代2丁目1-13

氏 名 株式会社ダイハツメタル  
代表取締役社長 金岡 秀輝  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-759-1215

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ダイハツメタル日野工場
事業場の所在地	滋賀県蒲生郡日野町日野第二工業団地1-1
計画期間	平成29年4月～平成30年3月

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	31 輸送用機械器具製造業
②事業の規模	売上高:4,266百万円('16年度実績)
③従業員数	194名('16年度末時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃油→中間処理業者にてスリ-燃料として再資源化</li> <li>・廃カ-→中間処理業者にて低カ-補助燃料として再資源化</li> <li>・廃砂→中間処理業者にて再生砂として再資源化</li> <li>・陶磁器くず→中間処理業者にて路盤材、再生碎石として再資源化</li> <li>・混合廃棄物→中間処理業者にてRPF(固形燃料)として再資源化</li> <li>・金属くず→業者にて分別・再利用</li> </ul> <p>※上記の処理残渣については中間処理業者より焼却または埋立処分</p>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
統括責任者：日野工場 工場長	
マニフェスト管理・廃棄物処理法順守管理責任者：日野工場 工務課 課長	
廃棄物低減活動推進責任者：日野工場 製造部 第1製造課 課長	
日野工場 製造部 第2製造課 課長	
日野工場 工務課 課長	
日野工場 品質管理室 室長	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】 別紙“産業廃棄物の種類と排出量”による		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・工程内不良率低減 ・中子砂の再利用化による廃棄物低減 ・離型剤および含浸液等の適正・有効利用 ・その他		
②計画	【目標】別紙“産業廃棄物の種類”と排出量による		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・工程内不良率低減 ・中子砂の再利用化の継続 ・廃油、排水の有効活用 ・その他		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 全て分別しているため特に問題なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 全て分別しているため特に問題なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】 別紙“産業廃棄物の種類と排出量”による	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り再生利用業者に処理委託実施</li> <li>・中間処理業者の現地確認実施</li> </ul>		

②計画	【目標】別紙“産業廃棄物の種類と排出量”による		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・現在、概ね中間処理業者の現地確認を実施したため、今後は不定期に現地確認 を実施する。			
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の種類と排出量

産業廃棄物の種類 現状と計画	廃油		廃アルカリ		混合廃棄物	
	現状 前年度実績	計画 目標	現状 前年度実績	計画 目標	現状 前年度実績	計画 目標
産業廃棄物の 排出の抑制に関する事項						
排出量	340.63t	337t	31.98t	31t	37.37t	36t
自ら行う産業廃棄物の 再生利用に関する事項						
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
自ら行う産業廃棄物の 中間処理に関する事項						
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
自ら行う産業廃棄物の 埋立処分又は海洋投入 処分に関する事項						
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
産業廃棄物の処理の 委託に関する事項						
全処理委託量	340.63t	337t	31.98t	31t	37.37t	36t
優良認定処理業者 への処理委託量	-	-	-	-	-	-
再生利用業者への 処理委託量	340.63t	337t	31.98t	31t	37.37t	36t
認定熱回収業者 への処理委託量	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-

産業廃棄物の種類 現状と計画	陶磁器屑		鋳さい		金属くず	
	現状 前年度実績	計画 目標	現状 前年度実績	計画 目標	現状 前年度実績	計画 目標
産業廃棄物の 排出の抑制に関する事項						
排出量	8.17t	8t	674.13t	640t	1.04t	1t
自ら行う産業廃棄物の 再生利用に関する事項						
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
自ら行う産業廃棄物の 中間処理に関する事項						
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
自ら行う産業廃棄物の 埋立処分又は海洋投入 処分に関する事項						
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
産業廃棄物の処理の 委託に関する事項						
全処理委託量	8.17t	8t	674.13t	640t	1.04t	1t
優良認定処理業者 への処理委託量	-	-	-	-	-	-
再生利用業者への 処理委託量	8.17t	8t	674.13t	640t	1.04t	1t
認定熱回収業者 への処理委託量	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-

<目標値算出の考え方>  
排出量を原単位化し年平均1%減とする

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。